

# 探訪あいち 担当者 報告書

ステージ名 NHK・BS ころろ旅2019春愛知県ルート を走る

担当者（幹事） まつぼっくり

開催日 2019年11月2日（土） 天候 晴

## サイクリングコース

大高緑地公園（午前8時30分）→ 森岡工業団地南 → 刈谷市歴史博物館〔見学〕→ 亀城公園  
→ 刈谷市郷土資料館〔見学〕→ 刈谷市駅 → 神明橋 → 半城土町大湫 → フローラルガーデンよさみ・依佐美通信所記念館〔見学〕→ <折り返し> → 〔昼食・和カフェ「ぼある」〕→ デンソーギャラリー〔見学〕→ 大高緑地公園・解散（午後2時30分）

距離：36km

所要時間：5時間

## 参加者

うかいさん、高浜の石川さん、ミシガンさん、depportさん、YOSHIさん、アロンさん、青のタイレルさん、T-kuchanさん、たむさん、鉄のGIOSさん、幹事  
計11人

## 感想文

NHK・BSプレミアムの「にっぽん縦断ころろ旅」は、俳優の火野正平さんが、視聴者から寄せられた手紙に書かれた心の風景を自転車を訪ねる旅番組です。

今年4月は愛知県の旅でした。ナゴヤ球場、一宮市の浅井山公園、刈谷市の依佐美鉄塔跡の楠、安城市の堀内公園が、行き先でした。

今回はこの中で私が最も心を惹かれた刈谷を舞台に探訪あいちを企画してみました。

番組を見て、大高緑地公園を出発し、JR東海道線に沿って南下するところまではわかりましたが、土地勘がないのでその後はどういうルートを通ったのかわかりません。とりあえず、最短ルートで依佐美を目指し、途中、刈谷市の見所を織り交ぜ、さながら大人の社会見学のようなコースになりました。

スタート地点は緑区大高緑地公園。

火野正平さんは、新幹線が見える公園の丘の上で手紙を読み、ここからスタートしました。

参加者は11人。予想より多くの方に参加していただき、嬉しい反面、昼食場所が少し心配になります。

8時30分に公園を出発し、新幹線とJR在来線の間の道を南下します。

国道23号線のガードを潜り、しばらく行くと、JR共和駅東側の交差点の一角に「ゴールドポケットパーク共和」があります。柔道の吉田秀彦さんや、レスリングの吉田沙保里さんや伊調馨さんらオリンピック金メダリスト8選手とその指導者2人の手形レリーフやサインがあしらわれたステンレス製の銘板が設置されています。

多くの金メダリストを輩出した至学館大学が大夫にあることから、2017年3月にこの場所にできたのです。

さらに南下。大夫市役所前を通り、東海道線を越え、刈谷市に入ります。

刈谷市歴史博物館は今年3月、刈谷城址がある亀城公園の隣に開館したばかりの新しい施設です。

1階の刈谷城が描かれた来館記念パネルの前で、係の女性職員にシャッターを押してもらいました。

1階のお祭りひろばには万燈祭で使われる武者絵や歌舞伎絵を描いた張紙人形（万燈）や山車が展示されています。万燈は青森のねぶたに似ています。



2階には歴史ひろばと企画展示室があり、城下町であった刈谷市の文化や産業発展の歴史を紹介しています。

立派な建物の割には展示物が少ない感じがしますが、入館料が無料なので満足できます。

次は亀城公園の西、亀城小学校の敷地内にある郷土資料館です。

昭和初期の建築様式をとどめる同小学校旧本館の建物を保存活用して、1980年（昭和55年）に開館しました。建物は平成11年2月17日に国の登録文化財になりました。

館内には古い教室を利用した8つの展示室があり、刈谷城関係史料や農具、民具等を展示しています。

昭和30年代の小学校の教室も再現されています。参加メンバーが小さな木の椅子に座り、係の方に記念写真を撮ってもらいました。小学生にタイムスリップしたような気分です。

私が最も気に入っているのが、昭和のコレクション展示室です。

月光仮面や怪傑ハリマオなどのお面。

エイトマンや星飛雄馬などのフィギア。

鉄腕アトムや鉄人28号、ウルトラマンなどのブリキのおもちゃ。

山本リンダのレコード盤や漫画のソノシート、ピンクレディーのポスター（ピンクレディーは私と  
同い年です）。

若大将（加山雄三）シリーズ、私をスキーに連れてってなどの映画のポスター。

さらに、昭和30年代の一般家庭の茶の間が再現されたコーナーもあります。

珍しく懐かしい展示品の数々に、ノスタリジーを感じてしまいます。

「近くにこんな場所があるのは知らなかった」との声がありました。



3番目は、本日のテーマである、依佐美送信所鉄塔跡の楠とその記念館です。

かつて250mの高さを誇った電波鉄塔が8本、広い田畑の中に立っていました。名古屋テレビ塔よりも高く、東京タワーが完成するまでは日本一高い鉄塔でした。1997（平成7）年に鉄塔は撤去されましたが、1箇所だけはその一部が残され、あとの7箇所の鉄塔跡には楠（クスノキ）が2本ずつ植えられました。

私達は、北から順番に楠を巡ります。

6箇所目は芝生で整地されていて、お爺さん達がパターゴルフを楽しんでいました。

私達自転車集団を見て、どこから来たのか訪ねられました。そして鉄塔の歴史を話してくださいました。若い頃、怖い思いをしながらも、鉄塔に登ったことがあったそうです。

さて、最後の7箇所目、依佐美送信所記念館に一番近い2本の楠の下で、火野正平さんはお手紙を読みます。お手紙の主は病後のリハビリでここを訪れ、クスノキを見つけ、そこまで歩くことを繰り返して病に打ち勝



つ力をもたらったといいます。正平さんは手紙の主に対して、「またこの木に触れて元気ががんばって」とエールを送りました。

ここで、今日の目的地に「とうちゃこ」としたいところでしたが、一番肝心の楠の周辺は愛知県企業庁が造成工事を行っていて、近づくことができません。

残念です。

依佐美送信所記念館には、日本の国際通信施設として重要な役割を果たした高周波コイルなど



の送信装置や鉄塔のジオラマが展示されています。また、この送信所は戦後、米国海軍に接收されていたため、英語の表示板も残っています。

鉄塔建設のため、小垣江駅から運搬用の鉄道も敷設されていたこと、米国海軍の寮もあり、鉄塔跡の楠はそこから移植されたことなど、案内ボランティアの方が説明してくださいました。

今は、「フローラルガーデンよさみ」として公園となっている場所には、様々な歴史が埋まっていることがわかります。

昼食は、公園近くの和カフェ「ぼあろ」にします。

記念館見学後、電話で11人ですが対応してもらえますか、と伝えておいたので、席が確保されていました。

ランチは、週替わりランチ、野菜カレー、唐揚げランチの3種類でいずれも1,020円。全員が今週の週替わりランチの「なすとキノコのミートスパ」を注文。

厨房はマスターが一人で切り盛りしているため、一度に3人前ずつしか作ることができず、最後の順番となった私に配膳されたときには、他のメンバーは食後のドリンクも飲み干したあとでした。

食後は、最後の見学先のデンソーギャラリーです。

デンソー本社5号館の3階にあり、通常は土曜日・日曜日は休館日ですが、毎月1回、第1土曜は開館日となります。

探訪あいちを本日実施したのは、この開館日に合わせたからです。



ギャラリーにはデンソーの歩みや製品が展示されていますが、注目されるのは、創業期に製造された電気洗濯機と電気自動車です。

家電メーカーでもないのに洗濯機が売れたのは、意外でした。また、60年以上前に既に電気自動車を作っていたとはびっくりしました。

受付の女性職員にお願いして、復元された「デンソ

一号」をバックに集合写真を撮ってもらいました。

元デンソー社員の高浜の石川さんは、ギャラリーの展示の一部を担当されたとのこと。

全ての“社会見学”を終了し、西三河方面の参加者にはここで解散、尾張・名古屋の参加者は往路と同じ経路で大高緑地公園へ戻りました。